

二王子神社由緒

御祭神

大國主大神 一言主大神

豊受姫大神 熊野加布呂大神

抑々二王子神社御祭神大國主大神北國鎮撫の際二王子岳に御登山國方を見給ひて此の越後の國土經營の大業を成就なされたのであります。此の偉大なる大神の御鴻徳を慕ふ良民はこの遺跡に祠を建て尊崇致しました。

中古神佛併合の有様となり二王子大權現と稱し明治初年神佛分離の制に依り二王子神社と改稱致しました。

靈山二王子岳に鎮りましまし良民の守護と産業の興隆とをなされた御神徳はいとも尊く御靈驗あらたかな神様としてまた信仰の大道場としてその崇敬の範圍は実に廣く古來より下越の總鎮守として善男善女悉く崇敬致して参りました。往時越後守護職佐々木盛綱公以來加治家は特に尊崇厚く累代加治ノ庄の惣氏神とまで尊信なされ、また村上の領主堀家、黒川の領主柳澤家も信仰なされ共に神田、山林、御供米等數度の寄進の行はれた事は古文書、寶物に依つて詳かであります。

甲、山林、園池、建築等の所有物の存続の行方、及び権利の消滅の事等である。

既述の如く、地主等による譲渡、贈与、遺贈等の行為は、その目的が、その土地の所有権を移転し、またはその一部を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。

中古不動産の取引においては、その目的が、その土地の所有権を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。その目的が、その土地の所有権を移転することである。

附録

第一編 第一分冊 第一分冊

二王千幡抽出説

御造營趣意書

下越の總鎮守として御神徳無窮由緒深遠なる二王子神社、私共祖先の遺されました宏大にして壯嚴なる二王子神社の御社殿は隣接の參籠所炊事所と共に昭和二十三年四月四日登山者の焚火より烏有に歸しました事は誠に恐れ多い極でございました。

敬神の念ある者ただ感慨無量、再建の一日も速かならん事を御祈り申して居りましたが、社殿御炎上以來ここに六年、誠に御粗末な假殿に奉齊申して參りました事は心ある者感涙にむせぶ外はありませんでした。しかるに近年御再建の奉賛を申し出でる御信神各位の芳聲遠近各地に日益に高揚せられつつある敬神の念は誠に喜びに堪へない次第であります。

茲に於て神社はこのたび社殿の再建を發願致しました。

敬神の清き誠は人類の福祉と國家郷土の發展、家運繁榮のすべての根源であります。依つて敬神の各位ともごもに先の社殿を建立せられたる其の偉大な祖先の心を繼承して下越總鎮守の由緒にふさはしい敬神の結晶を實現致し速かに遷宮の御儀を執り行ひ、以つて神慮を慰め奉り而して祖先の心に酬ひるとともに敬神各位の御期待に添はんの念願であります。

つらく惟ひまするに社殿の再建及び附屬建物の建造、境内地の整備を含む二王子神社の御造營の

之が達成は必然であります。敬神の各位には何卒以上の趣旨を御諒承下さいまして熱烈なる御協賛御助勢を賜はります様切に御願ひ申し上げます。

昭和二十八年十月中ノ九日

二王子神社宮司 高 嶋 景 孝

右神社崇敬者總代 本 間 泰 輔

同 總代 澁 谷 善 兵 衛

同 總代 須 藤 六 之 丞

右神社御造營奉賛準備委員 宮 村 嘉 久 男

同 澁 谷 潤 藏

同 加 藤 源 榮 門

同 秦 茂 藏

同 星 野 慶 一 郎

同 齋 藤 良 平

同 須 藤 與 二 郎

二王子神社遷宮奉贊會

總

裁

國國西平

名譽會長

少翁

顧問

關	石	岡	佐	五	田	村	大	兒	稻	佐	井	渡
川	井	村	藤	十	村	田	沼	玉	葉	藤	伊	邊
信	清	淑	辰	嵐	泰	三	鉄	龍		芳	誠	良
二	吉	一	雄	真	藏	郎	男	太	修	男	一	夫

吉	栗	鳴	山	渡	龜	矢	窪	伊	桂	近
井	原	瀬	本	部	田	嶋	田	藤	重	勇
省	平	銑	幸	久	佳		繁	辰	鴻	次
巳	作	太	夫	次	郎	靜	雄	治		

二王子神社遷宮奉賛会規程（抄）

第一條 本会は二王子神社の御造營遷宮及之に附帶して行れる事業を奉賛援助するを以て目的とする。

第二條 本会は二王子神社遷宮奉賛会と稱し事務所を新潟県北蒲原郡川東村大字田貝二王子神社社務所に置く。

第三條 本会の活動は二王子神社御造營本部との連絡協調に依つて行ふ。

第四條 本会は二王子神社の遷宮及これに附帶して行はれる左の事業費を奉賛するために活動する。

- 一、社殿の御造營費 壹千萬元
- 二、附属建物の建築費 參百萬円
- 三、境内地整備費 壹百萬円
- 四、遷宮祭費 壹百萬円
- 五、事務費並びに予備費 壹百萬円

第五條 本会の目的を賛助し金品を献納する諸氏を奉賛員とし奉賛員の種別は別に之を定める。

奉賛員は遷宮祭に於て神社より種別に相当する待遇を受ける。

奉賛員種別

特別有功奉賛員	拾萬元以上	献納の各位
有功奉賛員	五萬元以上	"
特別名譽奉賛員	參萬元以上	"
名譽奉賛員	壹萬元以上	"
特別奉賛員	五千元以上	"
奉助奉賛員	參千元以上	"
正奉賛員	壹千五百円以上	"
準奉賛員	壹千五百円未滿	"

二王子神社 社殿再建側面圖

總坪數 百參拾坪

